

市長と語ろう地域ミーティング [岡本地区] 開催結果

開催日時 平成21年4月23日(金) 午後7時30分～8時55分
会場 生涯学習センター今立分館
出席者 (地区) 60人
(市側) 市長、今立総合支所長、教育委員会事務局長、
総務部理事、市民自治推進課長、観光振興課長、
都市計画課長、産業環境部政策幹、建設部政策幹、今立総合支所政策幹
司会進行 今立総合支所地域振興課 課長
記録 地域振興課 副課長
担当 秘書広報課

市民憲章唱和

平成21年の一般コミュニティ助成事業助成金決定通知書交付

(市長から自治振興会長へ)

岡本地区自治振興会会長あいさつ

皆さんこんばんは。本日は、ご多忙のところご出席賜り感謝いたします。私たちの誓い「越前市民憲章」の5つの誓いを実現するためには、我々の力はもとより行政と一緒にあって行動することが大切です。市役所、市長といますと我々からは「遠くて近い」「近くて遠い」存在に思えます。本日は、身近な場所で忌憚のない率直な意見交換になりますようお願いしております。どうぞよろしく願いいたします。

地区役員等の紹介

- ・自治振興会副会長
- ・ 同 副会長
- ・ 同 副会長
- ・市議会議員

市長あいさつおよび説明

(別添参照)

出席職員を紹介

意見交換

代表質問

Q 1：杉尾町区長

<避難訓練での問題点について>

各区長宅に戸別受信機が配備されたが、月尾地区ではアンテナが必要で家から持ち出した場合、情報を受信できない。

避難訓練の時間を 2 時間としたことから、実際に即した訓練ができなかった。今年の訓練はこの点を考慮願いたい。

A 1：総務部理事

昨年度、今立地区に防災行政無線設備を設置し、各町内の区長宅に戸別受信機を配備いたしました。防災行政無線は、災害時の緊急連絡など、電波を通じて皆さんに情報をお知らせするシステムです。無線の特性上、山間部では中継基地からの電波を受信しにくい場合があります。そのため、市では、個別受信機ごとにアンテナを設置し、電波を受信できるように対応しています。従いまして、戸別受信機を屋外に持ち出し避難をした場合に、全ての場所で電波を受信できるとは限りません。今後は、町内の一次避難所におきましては、必ず電波が受信できるようにアンテナの設置などを検討してまいります。

なお、現在、岡本地区では、岡本小学校、岡本公民館、今立図書館、パピルス館、社会福祉センターにアンテナを設置し、災害情報が伝達できる体制を整えております。

昨年の総合震災訓練は、市内全地域で取り組んでいただきましたので、訓練時間を 2 時間といたしました。今年度予定しています、市の災害対策本部と連携した地域防災訓練は、岡本地区を対象とさせていただくことでお願いしています。当日の訓練内容等につきましては、今後、地元の担当の方々と十分に協議させていただき、実践に即した実りある訓練を実施いたしたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

Q 2：岡本自治振興会副会長

<自治振興会への市職員参加について>

自治振興会への市職員の参加が少ないが、市側としてどのような指導を行っているか？

振興会活動に市職員が参加をして頂ければ、状況把握や市の意見や方策を取り入れられる筈である。市議会議員の方は色々な面で参加を頂き、アドバイスや協力を得ている。

A 2：市長

協働のまちづくりを進めるためには、職員一人ひとりが市民自治組織との「協働」について正しく認識し、意識改革を進め、積極的にそれぞれの立場で役割を果たしていく必要があると思います。

市では、現在「職員一人一役運動」を進め、地域活動やさまざまな活動に積極的に参加し、「市民の目線」に立つことを心掛けることによって、地域や市民が望む施策を推進するよう取組みを進めております。

また、昨年、一昨年と全職員を対象として「協働」に関する研修会を実施しております。「協働」の意義、必要性を理解したうえで、さらに職員の意識改革を図ってまいりたいと考えています。

なお、今月、総務部長と市民生活部長の連名で全職員に対して、改めて「一人一役運動」の徹底を呼び掛け、活動状況の報告を求めているところであります。

Q 3 : 岡本自治振興会副会長

< 「和紙の里公園 = お峰周辺」整備事業について >

「和紙の里公園 = お峰周辺」の整備事業は、平成 20 年度に提案・承認を頂き、成果を挙げる事が出来ました。その平成 20 年度のプレゼンで説明しましたが、この事業については数年間に渡り、色んな視点・観点から総合的に進めたいと提案し、賛同を得ました。

しかしながら、平成 21 年度では、継続事業は半分しか認めて頂けず、また、別観点からの参道整備の提案は書類で却下されました。

自治振興会としても、「越前市地域街づくり計画策定等支援事業」として認定された「五箇街づくり」の整備と、その歴史・文化財産が多い、和紙の里公園である山の整備とを連動させて、総合的に岡本地区を元気あふれる地区にしたいと事業を進めております。この特別事業も当初の予定通りに、越前市として、継続的な支援を考慮いただきたい。

A 3 : 市民自治推進課長

地域自治振興事業の特別事業は、地域の特性を生かす事業と、地区間または市民活動団体との連携事業が対象となっています

特別事業の認定にあたりましては、外部の学識経験者等で組織する、越前市市民協働推進会議の委員が審査員となって、予備審査会並びに公開審査会で決定されます。

特別事業につきまして、平成 19 年度までは、単年度のみ事業しか認められていませんでしたが、自治振興会から、同じ事業を 2 年目以降継続して取り組む場合についても、認めて欲しいとの要望がありました。

そこで、平成 19 年度に各自治振興会事務局長の代表の方と何回か協議を重ね、単年度で完了することが困難とみなされる事業について、平成 22 年度から補助金交付要綱を見直す

ことを前提として、20年度から21年度までの2年間に限り継続を認め、2年目の交付金の額は、前年度交付金の2分の1以内とすることを決定しました。

この決定事項については、平成19年12月に開催された自治振興会連絡協議会の会長・事務局長会においてご説明し、ご理解を得ているものであります。

今回、岡本地区自治振興会より、新規事業として「お峰登山道月尾線整備事業」、特別事業として「お峰周辺整備の継続事業」の2事業の提案がありました。

しかし、去る3月19日に開催された市民協働推進会議の予備審査会で、審査員の判断として、今回、新規事業として提案があった「お峰登山道月尾線整備事業」は、月尾線の道路拡幅などの整備であり、平成20年度のお峰周辺整備事業の中に、同じ月尾線整備事業が含まれていることから、今回、特別事業として提案のあった「お峰周辺整備の継続事業」の中で取り組むべきとの結論が出された次第です。

この判断は、外部の学識経験者等で組織する推進会議の審査結果であり、何とぞご理解いただきたいと思えます。

なお、自治振興会からは、より困難な地域の課題に取り組むためには、長期にわたる市の支援が必要との意見も出されておりますので、現在、22年度からの補助金交付要綱の見直しに向けて、特別事業の交付要件などについて、市民協働推進会議の中で検討を進めているところです。

市に対するお礼 **生活環境整備に対するお礼**

島町の長年の懸案でありました市道の改良事業に着手していただき、お礼申し上げます。また、治山工事につきましてもよろしく願いいたします。生活環境整備が進むことにより地域が活性化され、過疎化対策につながっていくものと期待しています。

Q4：岡本地区自治振興会副会長

<岡本小学校の改築について>

岡本小学校の改築が予定され、今後、地区でも新校舎建設に向けて議論を深めることになると思うが、学校建設に向けてのプロセスを示していただきたい。

また、住民、PTAなどの意見、例えば、岡本小学校の特色ある授業には紙漉き授業があるが、地区住民も指導に参加し円滑に授業を進めることができる教室作りや、本を読む児童が増えてきているので従来の図書室のように狭い教室ではなく、充実した図書室の整備などの意見がすでにあるようなので、こうした意見を踏まえて議論を行えば、このような住民からの意見は反映されるのかどうかを聞かせていただきたい。

A4：教育委員会事務局長

市では、子供たちが安全、安心して学習できる教育環境を計画的に整備するため、学校

施設耐震化推進計画を策定しております。

この計画では、岡本小学校の校舎の改築は、平成 23 年度に設計、24・25 年度の 2 ヶ年継続で改築工事を実施する予定です。

近年、学校の改築工事を実施した白山小、北新庄小、南中山小では、各学校とも地域の特性を取り入ながら、コミュニティの拠点場所として地域に開放できるよう整備を行ってまいりました。

改築や整備につきましては、国庫補助事業で行うことが前提となり、一定の面積制限等や、限られた予算の中での事業となります。

その中で、地域や学校のご要望・ご意見をお聞きしながら各々の学校の特色を取り入れ、普通教室やそれ以外の教科別教室、特別活動室、図書室などの特別教室の整備を進めてまいりたいと考えております。是非、地元でも、その取りまとめをお願いしたいと考えております。

Q 5 : 岡本自治振興会副会長

< 岡太神社・大滝神社 式年大祭について >

今年は 33 年ぶりの御開帳が、岡太神社・大滝神社において、全国から関係者をお迎えし、また、能の梅若六郎先生や、世界的に有名な歌手スーザン・オズボーンさんに、お越しいただくなど盛大に開催されます。

観光振興課を中心に広報などで支援をいただいているが、他にも支援策があるのかどうかお聞かせいただきたい。

A 5 - 1 : 観光振興課長

神と紙のまつりの広報につきましては、「春のイベント連携ポスター「天地人・越前」」、「おまつり・^{いち}市めぐりスタンプラリー チラシ」、「天地人ぐるっと越前観光地回遊バス チラシ」や越前市ホームページで県内外に広く PR に努めています。

また、「ウララ」や「福楽」などの月刊誌・季刊誌に情報提供し、記事として取り上げてもらうよう働きかけています。その他、5 月 3 日には、市内イベント会場や観光施設を繋ぐ無料回遊バス「天地人ぐるっと越前」を 14 便運行し、その停留所として「紙の文化博物館」に加えて、岡太神社・大滝神社の近くの「旧和紙組合」にも停留所を設定し、JR 武生駅や他のイベント会場等からの回遊手段を確保します。

さらに、市内外から多くの方に足を運んでいただく策として、越前市と鯖江市が連携し、「おまつり・^{いち}市めぐりスタンプラリー」を実施することになっており、神と紙のまつりは、越前市内のスタンプラリー会場 4 箇所の中の 1 つと位置づけています。

岡太神社・大滝神社の本殿・拝殿につきましては、全国でも類のない貴重な文化財建造物であり、越前市の歴史・文化を語る上で、欠くことのできない国の重要文化財でありま

す。5月に開催されます式年大祭に向けて、昨年は本殿・拝殿の屋根部分が修理されました。この事業（事業費12,390,000円）について、市は826千円の補助金を交付させていただきました。

また、今年度からは、指定文化財等の管理に要する経費（事業費663,000円）の助成措置として、82千円の補助金を毎年、交付させていただく予定であります。

A5-2 都市計画課長

大滝神社周辺の景観に配慮したシンボルロード整備につきましては、県にもお願いをし、県事業である神宮川砂防事業も一体的に整備を行うこととし、地元の皆様とも充分協議させていただきながら、式年大祭に間に合うように鋭意整備を進めてまいりました。

具体的には、道路につきましては舗装を洗い出し風のカラー舗装として、併せて、側溝の表面を化粧仕上げとし、加えて、この道路に沿って自然石を配したせせらぎ水路を整備いたしました。

さらに、景観を阻害していた道路を横切る電線を無くし、電柱をカラーポールにし、景観にマッチした街路灯を設置しました。

また、訪れる方々の駐車場がありませんでしたので、大滝神社、並びに大滝町の皆様のご協力を得て、バスも利用出来る駐車場を整備しました。

地域を案内する施設としまして、和紙組合のご協力を得ながら、木製の案内板と通りのサインを設置（24日建て込み予定）いたします。県の砂防事業では、河川の点検用入り口のフェンス前に、木製銅版葺きの大型掲示板を設置していただきました。

今年度も引き続き、大滝神社周辺と和紙の里周辺を結ぶ回遊コースのサイン整備などを行ってまいります。また、景観に配慮いただいた民間の建物に対する街並み景観整備助成事業も創設しますので、是非活用していただきたいと思っております。

今後も、ご当地のまちづくり活動がさらに発展することを、また他の地区への広がりを期待いたしております。

Q6：岡本振興会副会長

<消費者行政について>

越前市では、消費者出前講座の際、高齢者等に講座の内容をわかりやすくするために、消費者グループが、パネルシアター劇で頑張っているのは理解しています。

しかし、消費者出前講座の際、「福井県講師養成講座」を（東京まで勉強に行って）修了し、県に登録されている講師が越前市内で5名います。市の消費者センター職員だけでは十分な啓蒙・啓発活動ができないのではないのでしょうか。越前市でも、これらの講師を積極的に活用してはいかがでしょうか。

レジ袋の有料化の取組みについては、評価をしています。このような「エコ活動」を、子どもたちに対して教育していくことが大切だと思います。母親クラブでは、新聞紙を利

用したバッグ作りを行っていますが、このような誰にでもできるエコ活動を小学校の「ゆとりの時間」にでも取り組んでいただきたい。

A 6 - 1 : 市長

今年度に「安全安心な消費者生活実現プラン」を策定いたします。現在、その公募委員を募集中であり、早急に議論を開始すると聞いています。そのプランの中で、JR武生駅前の消費者センターのハード面での整備であるとか、ソフト面では、ご指摘いただいた職員等の配置、弁護士を含めた相談体制やネットワークの構築などが位置づけられることになると思います。国からの交付金を県が基金として積み立て、県へ私たちの計画を示す中で、市に対して支援をもらえることとなります。今後、本格的な議論を始めますので、皆様のご意見を取り入れていきたいと思っております。

A 6 - 2 : 教育委員会事務局長

<子どもたちへの環境学習について>

越前市では平成 20 年度から、「学校版環境ISO」に取り組んでいます。節水やゴミ分別、紙の節約、食べ物を残さないなど、学校ごとに子供たちや先生の目標を設定し活動しています。平成 21 年度からは本格実施として、すべての小中学校、幼稚園で取り組むこととなります。その中で、レジ袋についても学校としてどういう取り組みができるのか検討されると思います。

なお、この「学校版環境ISO」は各学校において、毎年、PDCAサイクルの中で見直ししていきます。

また、市政出前講座の中にも、リサイクルに関するテーマがありますので、ご利用いただきたいと思っております。

閉会のあいさつ 岡本地区自治振興会副会長

本日は、お忙しいところお集まりいただきありがとうございました。市政全般の事業計画などについて知ることができましたことは、我々にとって大変意義があったと思っております。市長さん、市の幹部の皆さん、本日はありがとうございました。このようなミーティングこそが、行政と市民のつながりを深めるものと思っております。毎年このミーティングを続けていただくとともに、広報などでもいろんな情報を提供していただきたいと思っております。本日は、ありがとうございました。

閉会